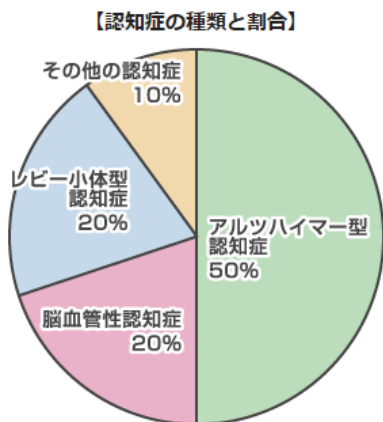


認知症の種類について勉強していきたいと思います。認知症＝アルツハイマーと思っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？



認知症の種類



アルツハイマーは**いくつかある認知症の種類の一つ**なのです。認知症には**いくつかの種類**がありこと知っていましたか？その原因から、いくつかの種類にわけることができます。どの認知症かによって**治療の方法**も変わってきます。まずは代表的な3つの認知症について勉強していきましょう。その他の認知症には、**ピック症（前頭葉型認知症）、慢性硬膜下血腫、正常圧水頭症、甲状腺機能低下症**などがあります。



アルツハイマー型認知症



脳の神経細胞が死んでしまい、広範囲で**脳の萎縮**がおきる。**高齢**になるにつれて患者が増加し、**記憶障害**から徐々に進行することが多い。

男性よりも**女性**に多く**70代以降**での発症が多いと言われています。

年単位でゆっくり進行するため、いつ発症したのかわかりにくい疾患です。

初期の症状として、同じことを何度も言ったり聞いたりする、財布などを置き忘れたりしまい忘れたりする、人や物の名前が思い出せない、水を出しっぱなしにしたり、火を消し忘れたりするなど、**記憶に関わる症状**があげられます

こんな変化に注意

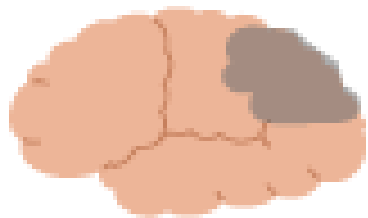
- 鍋に火をかけたまま忘れてたり、物の置き忘れを繰り返す
- 同じ事を何度も言ったり聞いたりする
- 長年の趣味や好きだったテレビ番組への関心を失う

脳血管性認知症

脳の血管が詰まったり、破れて出血して、神経細胞を圧迫する。

記憶や判断などの機能低下の症状が出ます。女性よりも男性に多く60代から70代での発症が多いと言われています。

初期の段階では認知機能の低下は目立ちませんが、性格が変わって抑制のきかない行動や周囲を気にしない振る舞い、同じことを繰り返したり、甘いものを毎日多量に食べるなどの行動の変化がみられることがあります。



こんな変化に注意

- 脳血管障害の発作を何度か起こしている
- 今まで簡単に出来ていた事ができなくなる
- 質問に答えるまでに時間がかかる

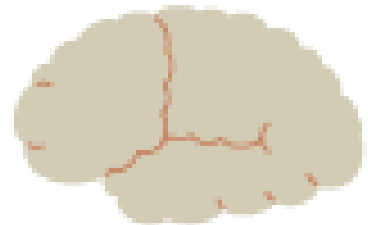


レビー小体型認知症

異常なタンパク質である**レビー小体**が脳細胞に蓄積して細胞が死んでしまいます。

幻覚が起こったり、パーキンソン病のような**手足の震え、筋肉がこわばる**などの症状がでてきます。初期の症状として認知機能の低下が目立つ前に、実際には存在していない子供や人、小動物、虫などが見える「**幻視**」があります。

病気が進行すると、**歩きにくなる、転びやすくなる**などのパーキンソン症状や、日や時間帯によって認知機能が低下したり改善したりする変動、**うつ病**の症状、夢を見て**大声で怒鳴ったり、怒ったり、布団の中で暴れたり**する睡眠行動障害などが現れることがあります。



こんな変化に注意

- 歩幅が小さく、動作が鈍くなってくる
- 現実にはないものが見えると言う
- 睡眠時に大きな寝言や大きな動作を生じる



せがわ薬局

石川県七尾市鍛冶町50番地

TEL 53-0810 FAX 53-3557

<http://www.segawa-pharmacy.com/>

文責：林 美樹